



三千人が舌鼓

CONTENTS

- よもぎた産業まつり
- CCZ 整備事業竣工式／慰霊祭
- 成人式
- 第九回デュアスロン大会
- カメラアイ／川柳北緯41°
- 保健コーナー
- お知らせ情報局
- 児童川柳ペンシル⑧／行事予定表
- みくつけた／戸籍の窓口

広報

よもぎた



2000 No. 296

肉はやっぱい蓬田牛

2000よもぎた産業まつり



おいしい蓬田牛を実際に食べてもらい、村内外に蓬田牛の存在をPRし、消費拡大と畜産振興を図ろうと村が開催している、2000よもぎた産業まつりが八月

二十七日(日)、村スポーツガーデンで行われました。この日は過ごしやすい天候に恵まれ、午前十時から始まった開会式では、古川正隆村長のあいさつのあと



花火の号砲でオーブンすると同時に、色とりどりのテントが張られた多目的広場のコーナーは、村内はもとより県内各地から集まった三千人のお客さんでいっぱいになり、家族連れや友人グループがコンロを囲んで、網や鉄板でうまい蓬田牛に舌鼓を打ちました。

また、村農協、漁協、商工会が協賛し、農業機械や船用品の展示即売、商工会の特産品の即売やフリーマーケット、ホタテ釣りゲームなど多彩なイベントが人気



を集めていました。また青森ねぶた正調囃子保存会による演奏もまつりを盛り上げました。

ステージでは、地元の歌手・蓬かほりさんと五所川原市出身の歌手竹谷美和子さんによる歌謡ショーが行われ歌を十曲披露し、蓬田音頭では来場者と一緒に手踊りの輪が広がりました。

このほか、バーベキュー券によるお楽しみ抽選会も行われ、豪華な賞品が贈られました。

蓬田海岸CCZ 整備事業竣工式典

蓬田海岸CCZ整備事業
竣工式典が八月九日（水）
ふるさと総合センターで盛
大に行われました。

午前十一時の開催セレモ
ニーでは、蓬田権現様保存
会による「獅子舞」の奉納
が行われ、花火の合図とと



もに開会されました。

この竣工式典は、建設省
東北地方建設局青森工事事
務所と蓬田村の共催で行わ
れ、始めに、建設省東北地
方建設局長からのあいさつ
があり、つづいて、古川正
隆村長が「我が村の漁業は
ホタテ貝の養殖と定置網漁
が発展しており、地域の生
活基盤を守るための保全事
業の役割は大きいものになっ
ている。」と述べ、又「C
CZ計画は、人が気軽に海
と親しめる広場、集い憩う
空間をつくりだそうという
ものです。そしてCCZ整
備で完成された施設等を活
用し地域の活性化に結びつ
きたい。」とあいさつしま
した。その後、青森工事事
務所長、吉崎光一助役より
工事経過報告がされました。
来賓祝辞の後、ふるさと
総合センター正面入口付近
で記念植樹が行われ式典を
終えました。

平成十二年度 戦没者慰霊祭

八月二十二日（火）、玉松
台において、村戦没者慰霊
祭が来賓、遺族、関係者百
三十人が参列して行われま
した。

古川正隆村長が村政の現
状を御霊に報告、「時代が
一段と複雑多岐に渡り、不
透明さを増していますが、
二十一世紀に向かって希望
ある村づくりを進めていき



ます。」と祭文を奉呈しま
した。

村内有志女性二十人によ
る御詠歌の流れる中、参列
者が焼香を行い、肉親の霊
を慰め、平和への誓いを新
たにしました。

式典に引き続き、青森駐
屯地の陸上自衛隊員による
ラッパ演奏と銃剣道演武が
奉納され閉祭しました。



20歳の誓い

46人の新たな旅立ち



新成人を祝う平成十二年
成人式が八月十四日(月)
ふるさと総合センターにお
いて行われました。
式は午前十時から始まり、

張間鐵男教育委員長が「未
知への挑戦、それは青年の
うちにこそ経験しなければ
ならないことなのです。人
を愛する心、郷土を愛する

心、平和を愛する心、これ
が玉松精神の宿るこの蓬田
村に生まれ育った誇りをもつ
て、激動する現代社会に果
敢に挑んでほしいと思いま
す。」と式辞を述べました。

続いて、古川正隆村長、
清水信造議会議長、中学生
時代恩師の先生より祝辞が
ありました。

これに対し、新成人の藤
本禎さんが「これからの世
の中は、私たちが中心となっ
ていかなければなりません。
しかし、世の中をよく知ら
ない私たちは、たくさんの方
の力をお借りして一歩
ずつ前に進んでいきます。」、
野口ひとみさんが「私たち
は今、それぞれの環境の中
で生活しています。その中
での人とのつながりや、得
る物事、数々の体験は本当
に大切なものだと思います。
これからもその生活を大事
により人間性の向上に努め
ていきたいと思えます。」
と誓いのことばを述べまし
た。

一人ひとりに村長より記
念品が、細谷正選挙管理委
員長からは選挙啓発のテレ
ホンカードがそれぞれ贈ら



れました。
最後に成人の誓いを八戸
貴志さんと新成人全員で斉
唱し、式を閉じました。
この後、懇談会が開かれ、
久しぶりの再会を懐かしん
でいました。

鉄人たちの熱い日

第九回デュアスロンinよもぎた大会

九月十日(日)、デュアスロンinよもぎた大会が開催されました。

今年で九回目を迎えた今大会は、南は神奈川や北は北海道(帯広市)など県外からの参加者三十四名を含む一八九名(十三歳女子から六十四歳男子)の選手が

参加しました。村内からも五名が参加し元気な走りをしてくれました。

スタートに先立ち行われた開会式では、古川正隆村長が歓迎の言葉を述べ、中村政一大会委員長があいさつをしました。続いて、選手を代表して



張間祐介君(長科)が選手宣誓を行いました。この日は、風が強くて、肌寒く、グラウンドコンディションも悪い天候の中、午前十一時に競技はスタートしました。選手たちの熱気と沿道からの暖かい声援で天気が悪

さも何のそのマラソン5キロ、自転車30キロ、マラソン5キロのコースで熱い戦いを選手たちは魅せてくれました。コースでの選手誘導、給水などをしてくれたボランティアの皆さん大変ご苦労さまでした。

上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

▼総合の部

- 1位 蛭沢 大輔(東北町)
- 2位 斉藤 祐幾(弘前市)
- 3位 上久保隆善(百石町)

▼女性の部

- 1位 向井 直子(神奈川県)
- 2位 山口 京(青森市)
- 3位 竹ヶ原しげ子(十和田市)

▼男性(45歳以上)

- 1位 爪生 英秋(千葉県)
- 2位 磯崎 信一(岩手県)
- 3位 石澤 英樹(黒石市)

国保連合会表彰を受ける

青森県国民健康保険団体連合会の第一〇九回通常総会が七月七日、県共同ビルにおいて各市町村長が出席し開催され、国保事業の発展に尽力した二十名の方々が表彰を受け、本村からは、森繁春国保運営協議会会長(阿弥陀川)、川島善勝会長(職務代理(中沢)の二人が国保事業の安定的運営の功

績が認められ国保連合会理事長表彰されました。表彰状は古川村長が「永年、村民の健康を守るため努力されてきた二人に心からお祝いと感謝を申し上げますとともに今後とも国保事業発展のために、尽力を賜りたい」とお礼を述べ、八月三十日に伝達されました。



カメラ



アイ

蓬田幼稚園開園式



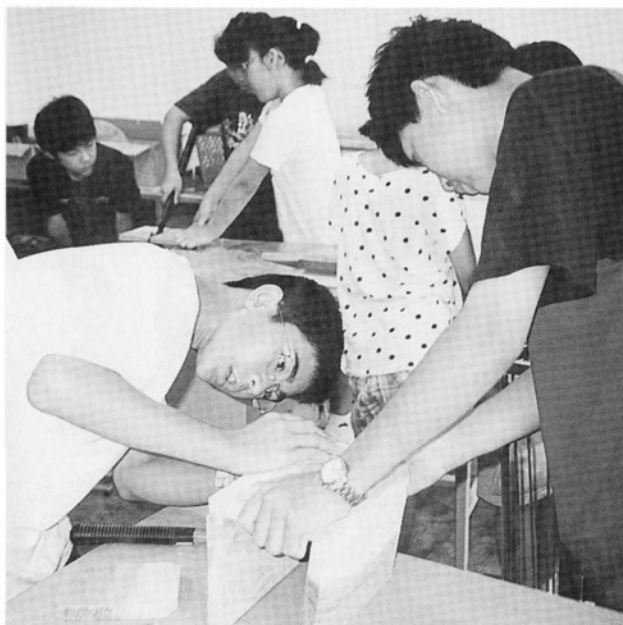
8月24日（木）、蓬田幼稚園の開園式が行われました。

この日は、始業式にもあたり旧幼稚園からの園児たちは新しいスタートを切りました。

新園舎は、入口が正面南側の奥になり、職員室が新築され、一部内装と外装が改築されました。

19人の園児たちは、新しい園舎でのびのびと元気に走り回っていました。

リーダーキャンプで いろいろな体験



蓬田村中央公民館主催の子ども会リーダー研修会が8月3日（木）～5日（土）の2泊3日の日程で玉松台スポーツガーデンを主会場に行われました。

各地区からの子ども会から集まった小学4年生から中学2年生までの34人が野外活動の技術やリーダーの心得などを学びました。

1日目のテント設営から始まり、カレーライス作り、ソバ打ち体験、ナイトウォーク、キャンプファイヤー、三内丸山での体験学習、レクリエーション、巣箱作りなどいろいろなことに挑戦しました。

子どもたちは、なれない作業に苦しみながらも自然に親しみ、力を合わせてさまざまなことを学んでいました。

JAが生まれ変わります!!

上磯地区農業協同組合合併に伴い、同合併促進協議会が新JAの名称を公募したところ、上口清次さん（長科）の「東つがる」が特選に選ばれ表彰を受けました。特選の「東つがる」は新JAの名称として採用されます。

新JAは「東つがる農業協同組合」として平成13年1月からスタートします。



海まつり



第6回玉松海まつりが8月6日(日)、玉松海水浴場において行われ、3千人を超える海水浴客やゲーム参加者にぎわいました。

前日の雨で心配された天候も、昼頃には真夏の晴天になり、主催者の中村政一村観光協会会長あいさつの後、花火の合図とともに宝さがしゲームが始まり、砂浜に埋められた封筒に賞品を書いた紙が入っていて、参加者はテントやクーラーボックスなどの夏にふさわしい品物を手に入れて歓声をあげていました。引き続き行われた地引き網では、参加者が一丸となって網を引き、網に入った魚は、お客さんが持ち帰りでき、又、無料試食コーナーの磯なべ・ホタテ焼きは大人気でお客さん大変喜ばれていました。

その他にも、爆弾ゲーム、ラムネ早飲み大会、浮輪手こぎレース、変則ビーチフラッグス等、多種目の競技が行われ、参加者たちは賞品を手に入れるため、炎天下の中、汗だくになりながら頑張っていました。

交通安全全球技大会

蓬田村子ども会交通安全全球技大会が9月3日(日)、蓬田村農業者トレーニングセンターで開催、村内の小・中学生と育成者、約250人が心地よい汗を流しました。

開会式では蟹田警察署交通課土岐部長が日頃の交通安全について講話をし、子どもたちや育成者は交通安全への決意を新たにしていました。

球技大会では、小学生がドッジボール、中学生がバスケットボールに熱戦が繰り広げられました。お昼は、お母さん方の作った豚汁に舌鼓をうっていました。

午後からは、低学年のなわとび。チャレンジ・ザ・ゲームには育成者も一緒に加わり子どもたちと盛り上がっていました。



41°

- ピンク映え 花はツツジの 青春期
- 一輪の 花にもあった 自己主張
- いつまでも 花の心で 暮らしたい
- 満開の 花ゆらゆらと 夜の蝶
- 満開の 花と会話を しています

貴 栄 広
重 彦 栄
勝 子 彦
蓬 石

- 満開の つつじ一鉢 善の顔
- 夕焼けの 山を想わす 花にほれ
- 鉢の花 年輪刻んだ 艶を出す
- 茶室に かざられた鉢 幸せに
- ほほずきの 音は静かに 亡母の色

年 栄
絹 枝
檉 吾
昭 夫
清 乃

クがはじまりましたね。シドニーオリンピック。皆さんは何の種目。期待してはいますか？ 広報が届く頃には何？ 個人の金メダルを獲得しているか？ 楽しみです。

結核！みんな知ってる？忘れてる？

～9月24日～9月30日は結核予防週間～

皆さん、結核という病気を

ご存じでしょうか？日本ではかつて結核によって多くの命が奪いとられた時代がありました。その頃に比べると良い薬も開発されたことにより結核治療の状況は大幅な改善を遂げてきました。

しかし、全国で年間約4万4千人の新規患者が発生し、約2千8百人が結核で亡くなっている等、罹患率、死亡率は未だ先進諸国の中で最も高い水準にあります。さらに平成9年にはこれまで減少が続けてきた新規発生患者が38年ぶりに、罹患率が43年ぶりに増加に転じ、平成10年以降もこの傾向が続いています。このことを考えると結核は過去の病気ではなく、いまなお放っておけない病気であることにかわりありません。

この結核予防週間に、次に述べる結核予防7つのポイントに注意し、結核予防の心がけましょう。

結核予防7つのポイント

①長引くせきは赤信号

“今年の風邪はたちが悪い。なかなか咳がとまらない”よく聞く話です。2週間も咳が続くと要注意です。早めに病院で検査を受けましょう。

②うつらぬうちにBCG

“あまり小さい子にBCGをするのは、かわいそう”こんな思いやりは大間違い。お子さんを結核菌から守るためBCGで予防しましょう。

③進んで受けよう健康診断

“私は大丈夫だから”これが健診を受けない理由の一つ。早期発見、早期治療が必要です。

④患者が出たらそろって検診

結核は、せき込む患者のしぶきを吸い込むことからうつります。まず家族一同検診を受けましょう。

⑤薬はやめずに継続して薬の中断は耐性菌発生

もともになります。耐性とは菌が強くなって薬に負けなくなることで。今でも難治患者が後を絶たないのは、この耐性によることが多いのです。

⑥こわれた肺はもどらない薬が効いて結核菌を抑えても、あらされた肺は元

⑦結核検診で肺腫も結核や肺癌は早期発見が大切、結核と肺癌を併せて検診を受けましょう。

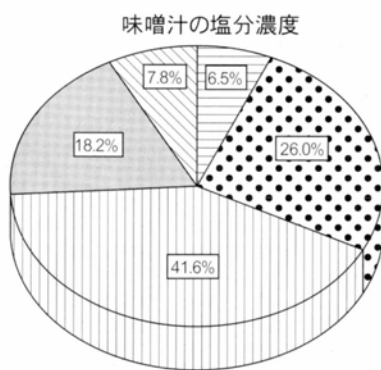
戻りません。その結果呼吸困難や心臓に負担がかかり、ついには不幸な目にあう人も少なくありません。

平成12年中沢地区

味噌汁塩分濃度測定結果についてお知らせします

昨年を引き続き、中沢地区では地区の食生活改善推進員さんが中心となって、各家庭の味噌汁のなかに含まれる塩分濃度測定を実施しました。結果は実施した77世帯のうち、①薄い～普通(0.6%～1.0%)が57世帯(全体の74%) ②少々からい～からい(1.2%～1.4%)が20世帯(全体の26%)でしたが、昨年とほぼ同様となっています。

中沢地区の味噌汁塩分濃度測定結果



青森県では食事の塩分3減運動(①一汁減…具を増やし、汁を少なく②つけ物減…浅漬けにチャレンジ③かけしょう油等減…料理の味を見てからソース、しょう油を)をおこなっています。塩分の取りすぎは脳血管疾患や心臓病等生活習慣病を引き起こす原因になります。塩分は1日10g以下にし、減塩食生活を目指しましょう。

※1日にどの位の塩分をとっているのかについては、7月の住民総合健診での尿中塩分測定結果に推計塩分量がでていきますので、めやすにしてみてください。

老齢基礎年金の繰り上げ請求は慎重に

国民年金の老齢基礎年金は65歳からの支給が原則ですが、希望すれば60歳から64歳の人でも、繰り上げて受けることができます。

ただし、繰り上げて年金を受けると、65歳から受ける場合に比べて、次のような不利な点があります。

- ① 繰り上げ支給の申請をしたときの年齢によって、受ける年金が一定の割合で減額され、その率は65歳を過ぎても変わらないので、生涯減額された年金を受けることとなります。
また、繰り上げ支給の請求書は、一旦受理されるとあとから取り消しや変更は出来ません。
- ② 繰り上げて年金を受けていると、特別支給の老齢厚生年金や退職共済年金は、65歳になるまで支給が停止されます。
- ③ 繰り上げて年金を受けた後、就職して厚生年金などに加入するとその間は支給は停止されます。
- ④ 繰り上げて年金を受けてしまうと、その後事故や病気で障害をもった場合でも障害基礎年金を受けることはできません。
- ⑤ 繰り上げて年金を受けた後、夫の死亡により遺族基礎年金の権利が発生しても65歳になるまでの間は、繰り上げ支給の老齢基礎年金とどちらか一方の年金しか受けられません。

繰り上げ請求したことを後悔することのないように、事前によく考えてから請求をしてください。

「育児・介護休業制度」について

少子・高齢化、核家族化が進む中で、育児や家族の介護の問題は、労働者が仕事を続けて行く上で大きな問題となっております。

この様な状況を踏まえ、平成11年4月より育児・介護休業制度が全面施行され、全事業主に義務化されました。

育児・介護休業制度には、下記のとおり「育児休業」「介護休業」「勤務時間の短縮等の措置」及び「深夜業を制限する制度」があります。

村民の皆さんには、制度の趣旨及び内容について、より一層、理解を深めていただきますようお願いいたします。

なお、育児・介護休業制度に関するお問い合わせ及びご相談は、青森労働局雇用均等室（電話：017-734-4211(直通)）又は県庁労政課（電話：017-734-9398(直通)）までお寄せ下さい。

- 育児休業** → 労働者が、1歳に満たない子を養育するためにする休業
- 介護休業** → 労働者が、要介護状態にある対象家族の介護をするためにする休業（要介護状態及び対象家族については、それぞれ条件があります。）
- 勤務時間の短縮等の措置** → 労働者が休業しないで育児や家族の介護ができるようにするために、事業主が講じなければならない措置
- 深夜業を制限する制度** → 育児や家族の介護をするために、労働者から請求があった場合に、午後10時から午前5時において労働させてはならない制度



お知らせ

情

報

局



省エネルギーについて

わたしたちの豊かな社会はエネルギーの消費によって支えられています。その一方で、温暖化など地球環境や資源についての危機が叫ばれており、わたしたち一人一人が身の回りを見直しエネルギーをムダなく上手に使いましょう。

シャワーを流し放しにしていませんか？

シャワーのお湯の流しっぱなしを1日1分間やめることで、家庭全体で年間27万キロリットル(原油換算)のエネルギーの使用量を控えることができると試算されています。

冷蔵庫を効率的に使用しましょう。

物を詰め込みすぎると冷気の流れが悪くなり、余分な電力を消費します。

電気製品の主電源を切りましょう。

リモコンでスイッチを切っても電力を消費する機器がたくさんあります。長時間使用しない場合は、電気製品の主電源を切りましょう。

機器選びにも工夫を。

省エネ型電気製品の開発が進んでいます。新しく購入するときは、よりエネルギー効率のよい電気製品を選びましょう。

災害者に対する県税の減免措置等について

災害により、財産に及ぼした損害が非常に大きく、そのために生活に重大な影響があった場合には、被害の状況等に応じて、今後納付すべき県税を減免する等の制度があります。

詳しくは県税事務所までご相談ください。

青森県事務所 電話017-734-9970

交通事故相談所のご案内

～ 交通事故にあったら、県の交通事故相談所へ ～

- ◇ 経験豊かな相談員と弁護士が相談に応じています。
- ◇ 電話、手紙による相談にも応じています。
- ◇ そのほか、巡回相談も実施しています。巡回の相談日は、皆さんの住んでいる市町村にお尋ねください。

◎相談時間	
※ 相談員による相談	月～金曜日 午前9時～午後4時(土・日曜・休日を除く)
※ 弁護士による相談	本 所 毎月第2・第4日曜日(午前10時～12時)
	弘前支所 毎月第1・第3日曜日(午前10時～12時)
	八戸支所 毎月第1・第3水曜日(午後1時～3時)

【相談する前に】

- 相談する方は、次のことを予め確かめておくことと相談を進めやすくなります。
- 1 事故の日時
 - 2 事故の状況
 - 3 怪我の程度と入院、通院の日数
 - 4 被害者の氏名、年齢、月収または年収
 - 5 加害者の氏名、年齢、職業
 - 6 自動車の所有者と自賠責保険
 - 7 及び任意保険の会社名
 - 7 交通事故証明書の写し

青森県交通事故相談所	
本 所	青森市長島一丁目1-1 県庁舎北棟1階 ☎代表 (017) 722-1111 (内線3670・3671) 直 通 (017) 734-9235 (FAX)
弘前支所	弘前市蔵主町4 県合同庁舎別館3階 ☎代表 (0172) 32-1131 (内線213) 直 通 (0172) 36-8721 (FAX)
八戸支所	八戸市尻内町鴨田7 県合同庁舎2階 ☎代表 (0178) 27-5111 (内線313) 直 通 (0178) 27-7006 (FAX)

相談は無料です

お気軽にご利用ください。

そうだ！！調査票に記入しなぐっちゃ！

2000年国勢調査は、日本に住んでいるすべての人が参加する一大イベントです。

- 10月1日現在で調査票に記入して下さい。
- 住民登録とは関係なく、ふだん住んでいる場所で調査します。
- あなたの調査票は、国の施策やまちづくりのための大切なデータになります。



友達にも教えてあげてね！



平成12年10月1日(日)

総務庁統計局

<http://www.stat.go.jp/21.htm>

青森県



題「太陽」

天位 夏だから太陽食べて元気だす

6年 相内 香奈江さん

●佳作

- 2年 久慈 亜衣
- 5年 大宮 哲也
- 5年 越田 結衣
- 6年 今 美幸
- 6年 田中 香里
- 6年 八戸 隆仁
- 3年 古川 雅俊
- 6年 兼平 雅俊
- 5年 久米 田吉
- 6年 工藤 紗織
- 6年 山藤 優哉
- 5年 松本 怜巳
- 6年 大宮 由子
- 2年 山谷 希奈
- 6年 八幡 祥吾
- 5年 高木 美佳
- 3年 山館 康代
- 6年 三浦 由寛
- 6年 清水 将俊
- 6年 南 翼
- 6年 坂本 友紀乃

●五客

- ☆人位
- ☆地位



選評 傘松川柳同好会長 わびきり 蓬石さん

247個の太陽がありました。太陽を自分のものにして作った句がすくなく、少しさびしかったです。このコーナーは、題がだされて、それをみんなが句にします。このとき、気をつけてください。出される「太陽」という題は2ばんめの題だじぶんと太陽のことをかきついでいいのです。いろいろな考えてみてね。太陽が出ないときのことでもいいです。いろいろな句がいつばいありました。太陽がみつけてくれました。友紀乃さんの目が光っています。「太陽食べて」というのが、せんりゆうですね。句の中には、お願いや、希望をいつばいつめこんでもいいのです。夏やすみは、お元気が出ましたか？

テレホンガイド

● 役	場	27-2111	よもぎ温泉	27-2170	●
	FAX	27-3255	中央公民館	27-2076	
教育委員会		31-3111	保育所	27-2180	
	FAX	31-3112	幼稚園	27-2042	
ふるさと総合センター		31-3200	小学校	27-2069	
トレセン		27-3010	中学校	27-2038	
たままつ海の情報館		31-3061	社会福祉協議会	27-2828	
			マルシェよもぎ	31-3040	●

10 OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



10月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時 間	担 当
10/2	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
4	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
11	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
16	月	書道教室	中央公民館	13:30	"
18	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
22	日	秋季火防演習	保育所グラウンド		総務課
23	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
25	水	陶芸教室	ふるさと総合センター	9:00	"
30	月	書道教室	中央公民館	13:30	"

戸籍の窓



人口と世帯数

(8月31日現在)

総人口 3,673人
 男 1,748人
 女 1,925人
 世帯数 1,092世帯

8月受付分

お誕生日おめでとうございます

山本 沙里 (一 仁 二女
 みどり)
 川崎 留依 (憲 二 長女
 恵 美)
 武井真空斗 (洋 介 長男
 貴 子)
 木村 祐介 (長 一 長男
 百合子)

ご結婚おめでとうございます

(吉田 誠 (中 沢)
 櫻庭 優子 (青 森 市)
 (小松 忍 (蓬 田)
 川内 千恵子 (阿 弥 陀 川)

おくやみ申し上げます

坂本 兵衛 (中沢 88歳)
 藤本 茂治郎 (長科 88歳)
 赤坂 きみよ (宮本 70歳)

訂正とお詫び

広報よもぎた8月号で誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

◎9ページ

【競技結果】
 相坂 収人

◎14ページ
 相坂 収人

◎お誕生コーナー

◎小鹿 裕哉
 ◎小鹿 祐哉

青森県民体育大会軟式野球

祝 優 勝



第55回市町村対抗青森県民体育大会が8月5日(土)～6日(日)に開催され我が蓬田村が村の部で見事優勝しました。

大会は、七戸町総合運動公園野球場で行われ、一回戦は天間林村と対戦し、6対3で見事勝利、波に乗った蓬田チームは準決勝の相手柏村を2対1の僅差で破り、決勝では田舎館村を5対1で下し初優勝を果たしました。

試合終了後は、応援する観客に笑顔で一礼し、優勝を噛み締めていました。



み〜つけた

138

蓬田無線中継所に袴腰岳登山口の看板が新設されました。看板(茶色で木製)は、大倉山好会が手作りで作製しました。

みなさんをお待ちしてま〜す。